

第5回北方学園開校準備委員会 会議要旨

と き 令和3年8月3日

ところ 役場2階 大会議室

※会議の主な内容は以下のとおり

事務局：定刻どおり第5回北方学園開校準備委員会を始める旨を告げる。（9時30分開始）

教育長：会議に先立ち、あいさつを述べる。

委員長：あいさつを述べる。

委員長：次第に基づき、事務局に報告を求める。

事務局：資料により進捗状況について報告を行う。

委員長：事務局からの報告に対し質疑応答を行う。

（主な協議内容）

○学園の建物の死角はどれくらいありますか。入り組んだ構造であると死角ができ、いじめ等の問題が起こりやすくなると思われれます。設計時にそういった配慮はされましたか。

⇒今回建て直す北学園の東舎を含め、現在の中学校から新築することも園まで、校舎が一直線となっており、廊下からすべて見渡すことができるように設計されています。また、南学園についても、中学校の部分を増築しますが、その校舎も現在の校舎と廊下を繋げて、できるだけシンプルで死角もなく、生徒指導にも配慮した建物と考えています。

○「北方科」の学園間交流は新しい関係を構築するという視点から素晴らしい試みであると思います。地域に提案していく形でカリキュラムが組まれているようですが、ここには地域の方が関わったりされますか。例えば町議会の議員の方に提案し、それが実際に実現可能な提案なのかなど、大人と話す機会がありますか。

⇒北方科の最後の出口について、実際の選挙のように行って選出された学園代表が、まずは、学園間でお互いのプレゼンの交流を行った後、町議会議員や町長の前でプレゼンを実施し、直接質問や意見を伺い、さらによいものを提案していけるようにしたいと考えています。

○北方学園クラブの運営主体は、地域住民、保護者、学校の3者による協働的運営とありますが、この3者のチームワークがすごく重要な視点になってくると思います。保護者に対し地域の方が関わっているということ意識づけるような仕組みがあるとより効果が出てくると思われれます。

○北方学園クラブの3者による協働的運営は理想的ですが、保護者の方の協力体制について

懸念しています。

⇒クラブの事務局に運営マネージャーを配置し、3者間の調整をしていただこうと考えています。

○悲惨な事故が起きないように、登下校時の環境整備も実施していただきたいです。

○北方科を積極的に進めていただき、北方の長い歴史や文化を子どもたちに話すことにより、北方に愛着を持ってほしいです。

事務局：次に「今後の方針について」説明する。今回の開校準備委員会での決定事項として「校則」「PTA組織」「校歌」「行事」「こども園」の5項目が提案された。このことに関して意見を求める。

(主な協議内容)

○7～9年生の夏の服装については、ポロシャツかカッターシャツとするとのことですが、夏服にも校章バッジをつけますか。登下校時などに地域の方がどこの学校の児童生徒か分かるようにしたほうがよいと思います。

⇒ポロシャツに校章のマークをアイロンなどでつける方法もあると思いますが、町章や校章入りのランバックや鞆は残したいと考えていますので、夏服に校章バッジをつけなくても、どこの児童生徒か認識はできると思います。

○制服以外の校則の内容は準備委員会で検討済みですか。

⇒この場では検討していません。まずは学校で固めたいと考えています。

○制服については大変多様性があると思います。ただ、校則と言われると、すべきものであるというイメージが強いので、生徒たちにとって、自分たちの生活の約束といった、学校や町からこうすべきだというものではないという働きかけがあると大変前向きになると思います。生徒や保護者にその場に応じた身だしなみを考えさせることができる、社会性を身に付けさせる大変よい機会になると思います。

○カッターシャツも指定しないというならば、デザイン等についても子どもたちと一緒に検討していけばよいでしょうか。また、1～6年生については、昨年度よりジャージの指定をはずしました。前期課程の児童も、後期課程指定のジャージが着用可とありますが、低学年などは自由ということですか。もしくは低学年でも着用できるサイズを業者に用意してもらおうということですか。

⇒基本的には、前期課程においてジャージは自由とし、後期課程指定のジャージを着用してもよいと考えています。カッターやポロシャツの型については、こちらから指定するか全くしないかのどちらかしかないため、先ほどご意見があったように、自分たちで決める校則なので、そのあたりを考えながら決めていくとよいと考えます。

○部活動には小学5・6年生から参加できるようになりますので、それくらいから着用できるとよいと思います。

⇒いつから着用するかについては、個人で決めていただければよいと考えます。

○夏服は何月から着用することになりますか。

⇒自分で選んで着用すればよいと思います。

○ここで決定したことは最初の初期設定であり、今後、例えば北方学園ルールというような感じにして、子どもたちが生徒会で決定するというように手続き的なことだけはしっかり決めておき、逐次改定していけばよいと思います。

⇒まさにそのとおりであると思います。今までも子どもの意見を聞きながら進めてきており、今はまだ学校がないので、この会で初期設定を行います。学校だけでなく、地域の方の合意を得ながら初期設定をするということが今の状況であるので、そういった考え方で今後は子どもたちが決めていくという形を大事にしていきたいと思います。

○6-3制について、3-3-3で区切るというのはおかしいでしょうか。

⇒子どもの発達段階や目標の持たせ方としては4-3-2で区切るのがよいと考えますが、教科書は前期課程と後期課程といった6-3で区切られています。両方取り入れることにより、それぞれの区切りで目標ができるので、それを基本としてはどうかと考えています。

○こども園について、子どもたちが伸び伸びと遊べる環境づくりが大事であると思いますので、遊具や砂場などの園庭についてもよく検討されて整備していただきたいです。また、北学園に隣接していることによるトラブルなどは起きないか、運動会などの行事はどのように実施されるのかなども協議されるとよいと思います。

○義務教育学校とこども園の関係性はどうなりますか。

⇒まだ具体的に協議はできていません。今後、幼保小中で連携できることを模索していきます。

○義務教育学校に入学すると、そこから9年間続くことになります。初期適応がすごく重要であるので、こども園から学園に入ったときにうまく着地できるかどうか、最初こじれてしまうとそれがずっと続くことになってしまうので、例えばコア援助チームなどをうまく構築して子どもを支えていく、人材が不足するようであれば、学園間を飛び越えて支援をしていけるとよいと考えます。また、こども園から前期課程への申し送りをどのように行うのか、それとコア援助チームがどのように連携を図っていくのか、このあたりをしっかりと検討されると、生まれてから9年生まで子どもの成長を支えることができる、あたたかい町になると思います。

⇒ここに町立を残した意味がそこにはあると思いますので、しっかり考えていきたいと思
います。

○町立幼稚園の園歌の歌詞には、仁王門や時の太鼓が入っており、北方愛をもって作られた
と地域の方から聞きました。再度見直ししていただけるとよいと思います。

⇒こども園は、町立幼稚園と町立保育園が一緒になりますので、想いをあわせて新たに作り
ました。今後町立幼稚園の園歌をどういう形で残していくかについて考えたいと思いま
す。

委員長：以上で協議を終了する。開校準備委員会として本日の提案内容について概ね了承す
ることとし、引き続き各専門部会での協議を継続していただくこととする。

委員長：最後に、その他の事項について事務局に説明を求める。

事務局：事務連絡として、次回の委員会の日程及び必要に応じて臨時開催について説明す
る。

委員長：以上で本日の会議を終了する。（11時17分終了）